

一般社団法人S.E.A(大阪 代表・中田仁之)は、アスリートのセカンドキャリアに向けた教育・就職・企業への定着を目指した教育機関「日本営業大学」を2020年4月に東京と大阪で開校する。設立の背景には、主に中小企業で顕在化する「人手不足倒産」もあり、元アスリートと企業のマッチングを図ることで、2つの社会問題の解消に寄与していく考え。同校では独自のシステムおよびカリキュラムでアスリート教育を行い、会員企業には人材紹介のみならず経営支援等も行うという。双方のメリットを追求した新しいプラットフォームが誕生する。

日本営業大学学長も務める中田仁之氏は、日本経営大学設立の目的を「元アスリートの貧困問題と、人手不足倒産の増加という2つの社会問題を解決する機関として設立する」と述べた。



(一社) S.E.A 「日本営業大学」開校

スポーツを通じて体得した能力(「非認知能力」)をビジネス界で発揮できるような教育し、こうした人材を活用することで特に日本を支える中小企業に

は「ないか」(中田氏)とみており、スポーツパフォーマン스에頼らない次の生活基盤を獲得するセーフティネットのひとつとして位置付ける。同校では、スポーツを通じて忍耐力や継続力、達成力といった「非認知能力」を獲得してきた元アスリートに、職の基盤あるいはセカンドキャリアへ

新プラットフォーム誕生

企業の「人手不足」解消にも

援の基盤を失ってしまう可能性も大きくなる」(中田氏)。こうしたことがアスリートの貧困問題を生む一因という。

アスリートに実社会で求められる教育をし、企業に必要な社会人基礎力の高い中核人材として送り出すことを目指す。

2020年東京五輪を控える現在、一采春、日本代表に入れなかった時点で競技に終止符を打つトップ選手が増えるので



中田仁之学長と特別講師・河邊幸夫(元関取・玉海力)氏

意。士業・経営者から営業のプロ、教員出身者など多彩な講師陣で、受講生は自身の目的に応じて必要科目を選択できる。11月16日には東京で第1回設立記念講演会を開催。12月から翌年1月の2カ月間、実際のカリキュラムおよび運営方法でプレ開校を行う予定。こうした機会を通じて、日本営業大学の理念やシステムの周知を図っていく。

すこと、競技によって引退時期が異なる事などを考慮したもの。そして、7月、11月、3月に会員企業とのマッチング機会を設ける。

入学資格は、競技歴および競技成績を一切問わず、スポーツを通じて会得した力をビジネス界で活かしたいという「志」があることのみ。書類選考と面接試験で判断する

入学金は5万円だが、学費は後払いシステムを採用。卒業後の就職先から得た給料から毎月5000円を3年間、同校に支払う。

カリキュラムに関しても、河邊幸夫氏(元関取・玉海力)や中田学長ら6人の特別講師による必修科目のほか、東京・大阪で約30人の講師陣によるオリジナル講義を用